

北日本漁業経済学会 ニュースレター

北日本漁業経済学会春季大会（第49回岩手大会）の案内

1. ご案内

昨年秋に予定しておりました第49回大会につきましては一般報告会と総会を12月末に公式HPに掲載することで実施しましたが、シンポジウムについては本年の連休明けに岩手県盛岡市の岩手大学キャンパスで行うとして調整・準備をしてきました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の第4波が来る可能性、密となりうるイベントの自粛要請の発出の可能性が拭えないため、岩手県釜石市にある岩手県三陸キャンパスを現地会場としてリモートでの開催にすることにしました。現地会場も準備しますが、基本はリモートとします。

2. シンポジウム案内

1) 場所・日時

日時 2021年5月15日(土)午後（13時～ 16時30分）

場所 岩手大学釜石キャンパス・セミナー室

オンラインZoomと現地会場の併用で開催（岩手大学・釜石キャンパスの機器使用）

現地会場はソーシャル・ディスタンスを配慮して30名まで収容

参加予定の方は、以下のURLにアクセスして参加フォームにお名前など入力してください。

https://docs.google.com/forms/d/10vk0beSUiBE6dlGBB4nihc0_hPH8SIKa0y6seXDHejA/edit

なお、学会公式HPからもアクセスできます。

2) 要旨

岩手水産業の今日的動向

～新しい時代を創る取り組みと三陸縦貫道全線開通のインパクト～

共催：岩手大学三陸水産研究センター

これまで三陸は、漁村単位に生産拠点が点在して個々の浜単位での生産が主体となってきた。近年、気候変動に伴うサケやサンマなどの主要な水産資源の減少が著しく、産地としての価値に大きな変化が生じている。

一方、震災復興関連事業の多くが終了して水産都市にあった生産基盤・物流基盤はほぼ完成している。しかも、それらの姿は震災前と比較して強化されている。さらには、三陸縦貫道についても一部を残して全線開通となる。この道路は、青森県から宮城県を結ぶ自動車専用道路で、東日本大震災復興の象徴的なプロジェクトとして整備された。従来の三陸水産業が個別産地に分散していたのは利便性の悪さによる物流に起因するところが大きかったが、三陸縦貫道の整備によって消費地と生産地、生産地間の距離を一気に縮めることとなった。これにより、従来浜単位で行われていた生産物の集荷範囲も広がると考えられる。

近年、生産物の種類や量が大きく変化している中、このような生産基盤や物流の変化は生産体制の変革や産地市場の再編など生産現場に与える影響も大きいと考えられる。本シンポジウムでは、生産基盤や三陸道開通がもたらす影響を視野に入れつつ、三陸沿岸に見られる新たな動向を各セクター代表者によりレビューしていただく。

3) プログラム

12 : 45 オンライン接続開始

13:00～13:05 オンライン・シンポジウムの案内・進行について

杭田俊之（岩手大学）

13:05～13:15 開会の挨拶

二平 章（北日本漁業経済学会・会長）

13:15～13:55 岩手県水産業の動向と新機軸（仮題）

後藤友明（岩手大学）

- 13:55～14:20 産地市場の近況と変化（仮題）
佐藤光男（大船渡魚市株式会社）
- 14:20～14:45 水産加工業界の動向について（仮題）
大野宣和（岩手県水産技術センター）
- （休憩 20分）
- 15:05～15:30 地域に根ざした水産加工業の取組（仮題）
佐藤正一（釜石ヒカリフーズ株式会社）
- 15:30～15:55 釜石市が復興事業で整備した「魚のまち」（仮題）
立石孝（釜石市）
- 15:55～16:30 共通討論 シンポジスト討議

3. 会計・監査報告

1) 会員数

	47期末	入会	退会	48期末
個人会員	123	2	10	115
学生等会員	3	1	0	4
団体会員	16	0	0	16
合計	142	3	10	135

※前期末の個人会員数に誤りがあった（（誤）127人→（正）123名）。

2) 第48期（2019年9月1日～2020年8月31日）決算報告

※当初昨年秋に予定されていた総会で報告・議決すべき案件でしたが、総会の延期と大会がオンラインをメインとすることとなりましたので、ここに決算内容を記載いたします。

(1) 一般会計

費目	予算	決算	差額（決算－予算）	備考等
<収入の部>				
前期繰越	2,609,106	2,609,106	0	

個人会費	800,000	1,080,000	280,000
学生等会費	9,000	15,000	6,000
団体会費	220,000	260,000	40,000
掲載料	20,000	10,000	△ 10,000
会誌売上	20,000	18,000	△ 2,000
雑収入	10	20	10
計	3,678,116	3,992,126	314,010

<支出の部>

学会誌印刷費	700,000	577,500	△ 122,500
人件費	30,000	37,000	7,000
文具消耗品費	20,000	4,400	△ 15,600
郵送通信費	40,000	40,108	108
振込手数料	1,000	990	△ 10
事務費	6,000	5,238	△ 762 ※1
諸雑費	10,000	0	△ 10,000
大会特別会計操出	50,000	50,000	0
春季特別会計操出	0	0	0 ※2
次期繰越	2,821,116	3,276,890	455,774
計	3,678,116	3,992,126	314,010

<収支差額> 212,010 667,784 455,774

※1 さくらインターネットレンタルサーバ料金（前年度は「賃借料」として計上）。

※2 当期は開催せず。

(2)大会特別会計

費目	予算	決算	差額	備考
<収入>				
前期繰越	371,268	371,268	0	

一般会計繰入	50,000	50,000	0
大会参加費	50,000	48,000	△ 2,000
懇親会参加費	100,000	87,000	△ 13,000
計	571,268	556,268	△ 15,000

<支出>

講演者旅費謝礼	200,000	190,000	△ 10,000
要旨集印刷費	100,000	54,780	△ 45,220
懇親会費	100,000	60,856	△ 39,144
会場費	100,000	580	△ 99,420 ※1
人件費	50,000	53,000	3,000
諸雑費	20,000	6,249	△ 13,751
次期繰越	1,268	190,803	189,535
計	571,268	556,268	△ 15,000

※1 東北大学の施設を利用できたことで予算を大きく下回った。

(3) 春期研究集会特別会計

費目	予算	決算	差額（決算－予算）	備考等
前期繰越	70,000	70,000	0	
次期繰越	70,000	70,000	0	48期は春期研究集会未開催

3) 監査報告

2021年4月7日、会計監査を実施し、決算内容に誤りがないことが確認された。

会計監査報告書

北日本商業経済学会第48期(2019年度：2019年9月1日～2020年8月31日)の会計報告について、預収書、預金通帳等の関連資料を精査した結果、適正に処理されており、決算報告書の記載に相違ないことを認めます。

2021年 4月 7日

監事 山下 成治 

監事 宮入 隆 

【今後の活動について】

1. 第50回大会について

第50回大会は、本年（2021年）秋に札幌での開催を予定しています。シンポジウムテーマにつきましては現在思案中ですが、新水産政策下の北海道漁業の行方などを検討したいと思っております。またオンラインになる可能性もあります。

北日本漁業経済学会事務局（事務局長；濱田武士）

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4-1-40

北海学園大学 経済学部（濱田研究室）

TEL 011-841-1161(代表)

E-mail njfe2020@gmail.com

Website <http://njfes.sakura.ne.jp/>